

令和7年度 第2回飛騨市総合政策審議会

日時：令和7年10月17日（金）午後1時～
場所：市役所西庁舎3階 小中会議室

1. 開 会

2. 市長挨拶

3. 会長挨拶

4. 協議事項

(1) 令和8年度当初予算編成（途中経過）について …… 資料①

～ 休 憩 ～

(2) 自由討議 …… 資料②

5. そ の 他

今後のスケジュール …… 資料③

6. 閉 会

令和 8 年度予算編成（途中経過）について

資料①

1. 背景

- 物価・人件費の高騰、地方交付税やふるさと納税などの財源が見通せず、財政運営が不安定化
- 従来のような予算編成・市政運営が通用しなくなりつつある
- 限られた財源や人的資源の中で、真に必要な事業を見極め、最少の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない

2. 予算づくりのテーマ・基本姿勢

R8 予算テーマ：「身近な暮らしの課題への回帰」～持続可能な飛騨市づくりの堅持～

- 市民生活の課題を解決するという原点に立ち返る
- 「何をやるか」よりも、「なぜやるのか」「何のためにやるのか」を重視
- 身近な暮らしの中にある困りごとを改めて洗い出し、課題の本質を整理
- 現場の実感や市民の声を踏まえた、実効性ある予算づくりを進める

3. 予算編成の進め方

時期	主な内容	
8～9月	予算テーマに沿って各部局で政策立案	
9月	総合政策課・財政課と各課で調整・協議	
10月	市長・副市長と 政策協議の実施 （10月末で各部局が一巡）	← <u>現在</u>
11～12月	再協議案件の協議	
12月・1月	予算査定	
1月	全体予算調整	
2月	予算書・発表資料完成	
3月	3月議会上程	

【政策協議の概要】

実施期間 令和 7 年 10 月 1 日（火）～ 12 月中旬

目的

- 各課と執行部が時間をかけ、深い議論を通じて**市政の重視する視点の共有**。
- 単年度対応にとどまらず、**将来の飛騨市**の方向性を見据えて検討。
- 制度の制約や全体バランス、行政の権限を超える案件も対象とし、即時予算化を目的としない協議も実施

参加者 市長・副市長・担当部局（若手含む）・財政課・総合政策課

協議時間 R7 見込み 約 80 時間（R6 実績 71.2 時間）

4. 政策協議の運用・重視している点

- <重点項目> ① 予算要求時点での一般財源上限設定 ② 事業の意義・効果の再整理
③ 知恵と工夫施策の徹底議論

①（事前）予算要求時点で「一般財源の上限額」を設定

- 各部ごとに、R7 年度を基準に「前年一般財源を超えない」シーリングを設定。
- 「査定で削る」方式でなく、各課自らが事業の優先順位をつけ、工夫する形に転換。

-1 【一般財源とは】 使い道を自由に決められるお金。

事業を実施する費用は大きく3つから構成され、

国県補助等	… 事業のお金
借入	… 借金をして賄うお金

一般財源（税・地方交付税等）	… 自由に使えるお金	← <u>ここに前年同額の上限設定</u>
----------------	------------	-----------------------

【例】 事業費 1,000 千円のイベント開催

（国補助 300 千円、県補助 200 千円、一般財源：500 千円）

-2 【一般財源を前年同額に抑えるために】

- ・国県補助や企業版ふるさと納税の獲得
- ・0 予算での工夫実施
- ・事業の優先順位づけによる再配分
- などを徹底。

⇒ 単に事業の質を落とすことにならないよう、

「何を優先し、どの方向性を重視するか」を問う議論の実施

② 全事業の再整理と課題の再確認

参考：別添「資料①-3」

観光課、文化振興課、公共施設管理 系課題 … 「市役所課題」「市の信念としての取組」中心

（例）公共施設が老朽化し、維持・修繕費が高額。

地域資源・文化を普及させ、まちの PR につなげたい。

関係人口を増やして、企業連携や飛騨市ファンとつながりを持ちたい。

市民福祉部、建設課、振興事務所 系課題 … 「市民の身近な暮らしの課題」中心

（例）病院ではなく、自宅で安心して暮らしたい。

地元の除雪作業、草刈り作業が負担。

民生委員など地域の担い手がおらず、欠員となった。

⇒ 「暮らしの課題リスト」（別添「資料①-2」）を作成し、重点化を実施。

【掘り起こされた新たな課題例】

例 1 市内アパート不足

（これまでの取組）不動産事業者に対し建設支援、空き家流動化支援
 （現在課題） 資材高騰・建築基準法改正。賃貸住宅不足変わらず

例 2 事業者省エネ設備更新支援

（これまでの取組）「正社員の従業員 1 名以上雇用」を補助条件として支援（旧商工課予算）
 （現在課題） 正社員を雇用していない家族経営者やパート社員の場合、支援の対象外

例 3 地域の防犯灯維持

（これまでの取組） 行政区への防犯灯 LED 化への支援
 （現在課題） 電気代高騰、老朽化や破損による修繕費の負担（LED 化率約 97%）

例 4 特定外来魚（ブラウンラウト）対策

（現在） 市内河川に大量発生。生態系への影響が懸念。

⇒ 各課題ごとに、これまでの**取組・実績・効果・今後の方向性**を整理
 議会、審議会、市民意見もリスト化し、対応状況を点検

③ 「知恵と工夫施策」の徹底議論

参考：別添「資料①-3」

例 1 市内アパート不足

⇒ 要素：「**手法の転換**」

（★工夫案） 空き家・市営住宅等を活用、市がオーナー・管理を委託する方式へ

例 2 省エネ設備支援

⇒ 要素：「**目的の転換**」

（★工夫案） 「事業者支援」から「省エネ推進」のための運営に変更

例 3 地域の防犯灯

⇒ 要素：「**重点の見直し**」

（★工夫案） 防犯灯の維持・改修部分の支援を充実

例 4 特定外来魚（ブラウンラウト）対策 ⇒ 要素：「**発想の転換**」

（★工夫案） 駆除一辺倒でなく、「食べてみたらどうか」=「地域資源にできないか」の検討

その他要素：「**0 予算での取組**」 「**外部財源の確保**」 「**市民・地域・企業との協働**」 など

<まとめ>

予算化できるかどうか、実現可能かどうかはまだ道半ばであり、今後さらに議論を深めていくが、政策協議の中身の一部として、上記のような議論を実施中。

こうした取組を通じて、財政制約の中でも真に必要な事業を見極め、より効果的・持続的な行政運営を目指している。

●この資料は、令和8年度から新たに実施を検討している事業や、これまでの既存の事業のうち拡充・拡大を検討している事業を抜粋して記載しています。
(新規・拡充のみ)

R7.10.14時点

元気な飛騨市づくり ～しごとを守る～

■ 様々な人や地域との交流から所得を生み出すまち

● 思い出に残る観光地づくり

観光とまちづくり学びの拠点化に向けた匠文化館リニューアル
夜間も散策を楽しめるまつり広場等景観照明整備
道の駅の来訪者増とブランド強化支援
屋台曳行・イベント向けのまつり広場整備
タウンレイル3を活用したまちなみ意識向上
ドラマ・CM業界へのロケ誘致による地域PR強化

● 関係人口等との交流によるまちづくり

就労・移住のための休日相談窓口の開設
都市部人材が一定期間働く“逆参勤交代制度”導入
外国人を対象とした“国際ヒダスケ”制度検討
台湾新港郷からの地域おこし協力隊受入による連携拡大
民間ノウハウを学んだ市単保育園留学の検討
結婚世帯支援の補助年齢要件緩和
国「ふるさと住民制度」との連携事業実施

● 地域内外への訴求力が強い農林畜産業づくり

水稻直播実証による省力化実証
関係機関と連携した脱プラ肥料採用啓発
農業版外国人雇用確保支援制度創出の検討
子牛共済の補完による農家の経営安定支援
飛騨菌製造支援による地域資源活性化の検討
採草機械借上支援による稲WCS代替牧草生産
雌飛騨産飛騨牛素牛確保による飛騨産飛騨牛の維持
粗飼料高騰に対する和牛繁殖農家支援
粗飼料高騰に対する畜産農家の借入利子補給支援
針広混交林化する森林づくりによる多機能性と収益性強化推進
市有林の立木販売実施とJクレジットの検討
地産地消と観光連動の「まるごと食堂」の開催地拡大
受賞を契機とした高原川鮎PR強化

■ 誰もが働きやすく、活躍できる元気なまち

● 多様な人材が活躍する産業の支援

採用トレンドを考慮した市独自企業説明会の開催
育成就労制度を考慮した外国人雇用・生活支援の検討
関税影響対策として利子補給制度創出

● 少人数でも持続可能な産業の支援

★ 市外へ事業所拡大時の支援制度創出
ラジコン草刈機導入支援、追加加算によるスマート農業導入推進

- この資料は、令和7年10月17日開催の飛騨市総合政策審議会において、委員の皆様からご意見をいただく為の参考資料です。
- この資料に掲載している施策はあくまでも現在検討中の案であり、予算化・実施することを確定したものではありません。
- 今後の協議や予算規模によっては、「事業化を断念」、「前倒して年度内に実施」、「引き続き検討」とする場合がございます。
- 資料のお取扱いには十分ご注意ください。

(参考) ★… 過去の総合政策審議会でご意見をいただいた事業の一部

■ 誰一人取り残されず大切にされる思いやりのあるまち

R7.10.14時点

● 必要な医療・介護を受けられる体制づくり

- ★ 生きがいデイサービス市独自機能訓練加算
- ★ 共同送迎による介護サービスの送迎効率化検討
- ★ 介護職員の入門的研修・初任者研修の再編実施
- ★ 後期高齢者医療保険料における仮徴収額平準化

● 弱い立場の方も一人ひとりありのままの自分を大事にされる環境づくり

- ★ がん等診断者への生活就労支援の検討
- ★ 新たな地域おこし協力隊等による学校作業療法士の育成・体制確保
- ★ B型就労に適応困難者へ就労・生活・健康に特化した新たな支援創出 (D型)
- ★ 民間へ一部業務委託によるふらっと包括的総合相談支援の体制整備
- ★ 保育園作業療法・支援者支援・予防的アプローチ等の実践普及啓発
- ★ 健康増進リハビリ習慣化センター「パワーふらっと」強化による受入強化
- ★ 企業分解業務と就労支援対象者とマッチングした支援実証 (ふらっとジャスト就労)
- ★ 医療的ケア児家族の安心レスパイト支援の活用枠拡大
- ★ 障がい者就労体験支援奨励金の単価増額による企業受入強化

● 最期まで住み慣れた場所で暮らせる仕組みづくり

- ★ 個人負担導入による除雪用グレーチング設置支援運用の検討
- ★ 空き家・市営住宅等活用による住まい不足解消の検討
- ★ 民生委員を市全域から選任する運用の検討
- ★ 和光園における施設利活用も含む運営改善の検討

● 安心して暮らせる公共サービスづくり

- ★ 除雪作業員のやりがい向上と感謝伝達
- ★ 市有地活用による環境配慮型除草実証の検討
- ★ 交通事業者のタクシー車両等購入及び運行環境整備支援創出
- ★ 老朽化した水道管の更新
- ★ 消防団組織の団員確保支援
- ★ マイナ保険証活用による救急業務円滑化
- ★ 市民病院のマイナンバーカード・診察券一体化による医療DX推進

■ お互いを家族のように思い、支えあえるまち

● みんなで支えあうコミュニティと防災体制づくり

- ★ 「自主防災組織連絡協議会」による地域防災力向上
- ★ 区長手当見直しに向けた検討会議設置の検討
- ★ 防災行政無線デジタル化等加味した防災ハンドブック改訂版作成
- ★ 避難所運営訓練の春・秋2回開催による実践体制強化
- ★ 防犯灯維持補助金の単価UP、改修も対象に加えた支援拡充
- ★ ICT機器を活用した効率的有害鳥獣捕獲・住民啓発による被害防止対策

● 平和な日常を大切に思えるみんながやさしいまちづくり

- ★ 市民主体平和推進委員提案による平和取組み実践
- ★ 広島派遣変更による中学生平和学習参加拡充検討

● 楽しく子育てできる環境づくり

- ★ クーポンから現金支給への入園入学支援見直し検討
- ★ 子供たちの提案を受けた旭保育園園舎の利活用検討
- ★ 子育て世代に人気の都市公園水イベントの拡充検討
- ★ 学習支援も行える子供の居場所環境整備
- ★ 介護職員の確保対策 (入門的研修・初任者研修)
- ★ 多胎児妊婦に対する追加健康診査支援拡充
- ★ 赤ちゃん防災講座を市民向けに実施拡大
- ★ 妊婦通院費助成における緊急案件等対象要件拡大
- ★ こども誰でも通園制度の実施

■ 生涯現役で自分らしく暮らせる健やかなまち

● 全世代の健康づくり・体づくりの支援

- ★ 食生活見直しのための「食育SATシステム」の活用
- ★ ピロリ菌抗体検査実施による胃がんリスク軽減
- ★ 健康データに基づく飲食節度見直しキャンペーン実施検討
- ★ 神岡小プールの一般開放
- ★ スケートボードエリアの在り方の検討

■ 子ども達の生きる力を地域一体で育む学び豊かなまち

● 未知の課題に立ち向かい自ら解決することのできる子ども達を育むまちづくり

- ★ 公共交通利用や指導者への謝金補助見直しによる地域クラブ活動支援
事務補助員配置やICT導入による教職員の働きがいのある職場づくり
子供たちの育ちを支える飛騨市学園構想「第3章」に向けた推進

■ 一人ひとりの頑張りを応援し互いに尊敬しあえるまち

● 生涯学び自分を磨くことができる環境づくり

- コミュニティ施設の予約システム導入による活用推進
河合町における飛騨・美濃歌舞伎大会開催
地元民を主役とした神岡図書館移転開館10周年記念イベント開催
市民カレッジで5回受講者に学割券付与の拡充

■ 豊かな環境と個性ある地域資源を大切にす誇り高いまち

● 地域・文化資源を大切に自慢できる仕組みづくり

- 厄介者の外来魚（ブラウントラウト）を地域資源に変える活用検討
神岡恐竜溪谷プロジェクトの推進
集落支援制度を活用した宮川万波そば維持
ふるさと納税を活用した池ヶ原湿原の保全管理体制の強化
飛騨まんが王国の活性化と運営見直し
- ★ 登山ボランティア団体と連携した自然環境整備の推進（神岡）
次世代に伝え継承するための古川祭史刊行
福祉連携による山中和紙業務分業化実証
市文化財保存活用地域計画策定に向けた準備

● 豊かな自然と水を守り後世に引き継ぐ仕組みづくり

- 住宅太陽光発電設備等設置支援を蓄電池単体にも拡充
PHEV車への環境配慮型自動車購入支援拡充
事業者省エネ支援の目的見直しによる補助対象拡充
- ★ 公共施設への太陽光発電設備導入の検討
「紙」をテーマとした市民参加型ごみ減量運動の検討
大量廃棄事業者への減量計画提出義務化の導入

市役所づくり ～歳出の縮減を図りつつ体制をスリム化し強靱な市役所をつくる～

- 20施設の方向性を決めるための検討委員会の設置検討
提案型職員採用による新たな人材確保の推進
- ★ 時代に合わせた委員報酬・手当制度の見直し
書かない窓口で税証明発行手続きの追加拡大
議場のバリアフリー化とLED化整備
預貯金照会電子化サービスの拡充
口座振替受付を窓口完結とする手続き簡素化システム導入

(参考)暮らしの課題リスト

NO	所属部	所属課	分類(大項目)	分野(中小項目)	ヒアリング先	課題(要望・困りごとなど) ※いつ誰からの要望・発言かなど	既存事業	課題に対する取組みの状況	R8政策方向性	政策シート
1	市民福祉部	総合福祉課	②高齢者・福祉	障がい	a.市民等	特別支援学校に通っている生徒が、円滑な学校の就業体験を実施したい。	有	障がい者就労体験支援奨励金 「就業体験を受け入れてくれた企業」に対して奨励金を支払うもの。 これまで、一般企業のみを対象としていたがR7年度より福祉サービス事業所も対象とした。	福祉事業所の受入れ体制の整備、モチベーションアップを踏まえ 奨励金の増額(1千円⇒2千円)	9障がい者就労体験支援奨励金
2	市民福祉部	総合福祉課	②高齢者・福祉	障がい	a.市民等	障がいの治療のため市外に通院する場合の交通費負担が大きい(障がい者) 通院回数が多く、特に支援者がいない療養者はタクシー料金等の費用負担が大きい(透析療養者) ・通院助成において申請時と請求書提出時の2回窓口に来所する必要があり申請者の負担	有	通院等による交通費の支援 ①在宅障がい児等通院助成実施。(R5～通院先の所在地に応じた単価にて助成) 助成実績:(R5)57件、682千円 (R6)70件、852千円 ②人工透析療養者通院サービス事業実施 助成実績:(R5)3名、651千円 (R6)2名、652千円 通院助成において申請時と請求書提出時の2回窓口に来所する必要があり 申請者の負担 となっている	継続 logoフォームによる電子申請を導入	15通院等による交通費の支援
8	市民福祉部	総合福祉課	②高齢者・福祉	障がい	a.市民等	障がい福祉サービスを利用したいが、経済的に負担がある	有	障がい児通所支援利用者負担助成 市町村民税課税世帯は、サービス利用料の1割が自己負担することとなる。 その世帯について自己負担全額を市が独自助成必要な方が必要なサービスを受けられる体制づくり R5:3,494千円 R6:3,902千円 年々利用者が 増え増加傾向	継続	19障がい児通所支援利用者負担助成
14	市民福祉部	地域包括ケア課	②高齢者・福祉	介護	a.市民等	介護のことはケアマネしか頼れない。忙しそうでなかなか相談できない。 ケアマネは他の介護職員と比較し処遇改善加算の対象となっていないこともあり待遇が良くない ケアマネの高齢化、人材不足が深刻	有	がんばるケアマネインセンティブポイント 市が設定する評定項目の達成状況に応じた報償品の支給 報償品実績 R5 7件(19人)1,720千円 R6 7件(19人)1,710千円	継続	18がんばるケアマネインセンティブポイント
15	市民福祉部	地域包括ケア課	②高齢者・福祉	介護	a.市民等	転倒や事故が心配。できるだけ長く自宅で過ごしたい。 介護する側が腰痛など負担が大きい 家を少し直すだけで安心して暮らせるのに費用面でできない。	有	リハビリ専門職による住宅改修・福祉用具購入支援の推進 専門職を派遣、指導や助言を行った場合にその事業所へ補助金交付 R4より福祉用具購入についても派遣対象に拡充(実績) R2 1件、3千円 R3 1件、3千円 R4 4件、54千円 R5 1件、24千円 R6 2件、30千円	継続	19リハビリ専門職による住宅改修・福祉用具購入支援の推進

NO	所属部	所属課	分類(大項目)	分野(中小項目)	ヒアリング先	課題(要望・困りごとなど) ※いつ誰からの要望・発言かなど	既存事業	課題に対する取組みの状況	R8政策方向性	政策シート
1	市民福祉部	保健センター	①子育て・教育	産前産後	a.市民等	妊産婦の不安、悩み、問題の改善解消の必要性 ・育児の孤独感、産後のメンタル不調 ・外国籍の方の妊娠出産育児における日本での育児等への不安 産後に周囲からの支援が受けられず、家事育児に手が回らない。(産婦の声)	有	産前産後ママサポートプロジェクト(産前産後サポート) ①助産師等と連携した産前・産後サポート事業の実施 (ママサロンまるん、訪問型産前ケア) ・産後ケア事業の実施。 R7からは訪問型無料券8枚交付を開始 ②子育て支援ヘルパー派遣の実施	継続 利用者増加傾向から 産後ケア委託増額要求	1産前産後ママサポートプロジェクト①(産前産後サポート)
3	市民福祉部	保健センター	①子育て・教育	産前産後	a.市民等	多胎妊産婦の場合の課題 ・休みない育児で母の休息する時間がない。 ・周囲に多胎を育てる人がおらず悩みを相談できない。 ・健診や予防接種など多胎児を1人で連れていくことが難しい。 ・妊婦健診の受診が単胎児よりも多く、経済的な負担が大きい。 多胎児ピアサポーターの養成 ・多胎児を持つ母を支えるサポーターの不足 ・多胎妊産婦が受けたいときに支援の手がない。	有	多胎児家庭支援事業の実施 ・多胎ネット事業(NPO法人ぎふ多胎ネット事業)によるサポート15枚配布 ・多胎児ピアサポーター養成講座の実施	継続。 多胎妊娠の妊婦に対して、 通常の妊婦健康診査14回に加え、 5回分の妊婦健康診査支援	3産前産後ママサポートプロジェクト③(多胎支援)
7	環境水道部	環境課	⑦環境・ごみ	ごみ処理	a.市民等	地区のごみ出し日が分かりにくい。 ごみ分別方法が分かるといい。	有	ごみ出し支援アプリの運用 R4年8月～ごみ出し支援アプリ「さんあ～る」 住んでいる地区を設定することで、ごみ出し日がカレンダーで表示 50音検索で分別方法が分かる 登録者 R4:1305、R5:1809、R6:2618、R7年2,981人(9月)	継続。 アプリを使用しない方はWEB版を勧める。 保健衛生カレンダーでも確認できる。 検索履歴から一覧に掲載していない品目を随時追加する。	7ごみ出し支援アプリの運用
8	環境水道部	環境課	⑦環境・ごみ	ごみ処理	a.市民等	①神岡町で休日でも粗大ごみ等を出せる場所があるといい。 ②高齢者が収集許可業者の粗大ごみ等を回収サービスを利用するときに負担を減らせないか。 ③衣類を出す方法を増やしてほしい。 ④高齢者がゴミステーションや地域の分別ステーションまでゴミを出しに行くのが大変。 ⑤指定ゴミ袋収集や分別ステーションで回収できない古紙類や衣類が出せる場所があるといい。	有	ごみリサイクル体制の強化 ①エコサポートかみおかの休日開所を開始(R4～R5から毎月第1日曜に開所) 利用件数 R4:108件、R5:130件、R6:72件 利用者減、町内の認知度75%。 ②高齢者対象に収集許可業者の有料回収サービスの利用料金の一部を助成(R4～1,000円/回、3回まで/年度) 利用件数 R5:54件、R6:47件 ③衣類定期回収、24時間ボックスの設置により、衣類がリサイクルできる環境を整備 衣類定期回収は利用者が多いが、夏場と冬場の受付対応が大変との意見あり。 ④地域共助を目的とした、ごみ出しサポーター制度を開始(R6～R6は2件申請 ⑤24時間資源回収ボックスを市内に設置して、市民が出しやすい環境を整備 市内8ヶ所設置、駅東駐車場移転後、利用増加。 民間回収所があるため増設不要。	①・利用件数は減少傾向だが、休日開所を継続 ・委託料増額(毎月第1日曜) ②継続 ③開催回数を減(年5回→3回) 衣替えにあわせた時期に変更 ④継続。 ⑤既設8か所で継続。	8ごみリサイクル体制の強化

NO	所属部	所属課	分類(大項目)	分野(中小項目)	ヒアリング先	課題(要望・困りごとなど) ※いつ誰からの要望・発言かなど	既存事業	課題に対する取組みの状況	R8政策方向性	政策シート
10	基盤整備部	建設課	⑫インフラ整備	インフラ整備	a.市民等	自治会や各町内、市民からのハード整備要望	有	地域基盤振興費(古川) 自治会や各町内、市民からのハード整備要望各地区での振興費を予算化し、振興事務所の裁量にて実施(古川59,000千円) R6 対応件数130件 要望ベース434件中(市325、国県109)のうち、市130件(実施率40%) 国県は35件/109が対応	継続	14地域基盤振興費(古川)
11	基盤整備部	建設課	⑫インフラ整備	インフラ整備	a.市民等	自治会や各町内、市民からのハード整備要望	有	地域基盤振興費(河合) 自治会や各町内、市民からのハード整備要望各地区での振興費を予算化し、振興事務所の裁量にて実施(河合18,500千円) R6 対応件数50件(委託等2、修繕工事43、原材料支給2、重機借上3)	継続	15地域基盤振興費(河合)
12	基盤整備部	建設課	⑫インフラ整備	インフラ整備	a.市民等	自治会や各町内、市民からのハード整備要望	有	地域基盤振興費(宮川) 自治会や各町内、市民からのハード整備要望各地区での振興費を予算化し、振興事務所の裁量にて実施(宮川16,500千円) R6 対応件数57件(委託等6、修繕工事38、原材料支給7、重機借上6)	継続	16地域基盤振興費(宮川)
13	基盤整備部	建設課	⑫インフラ整備	インフラ整備	a.市民等	自治会や各町内、市民からのハード整備要望	有	地域基盤振興費(神岡) 自治会や各町内、市民からのハード整備要望各地区での振興費を予算化し、振興事務所の裁量にて実施(神岡56,000千円) R6 対応件数237件(委託等8、修繕工事190、原材料支給25、重機借上11、消耗品3) 要望ベース365件中(市315、国県50)のうち、126件(実施率34.5%)	継続	17地域基盤振興費(神岡)

知恵と工夫による暮らし応援施策リスト（例）

資料①-3

R7.10.14

市民の困りごとや地域のねがいにに対し、「費用をかけず、知恵と工夫で応える」取組を各分野で検討中。現場の声に寄り添い、ささやかでも喜んでいただけるような施策策定を進めています。

1. グレーチング設置

課題： 地区要望が通らず、長年未修繕の箇所がある。高齢者にとって除雪負担が大きい。

工夫： 個人負担を出せば優先的に工事を行う新たな運用スキームを検討。

👉 運用を見直すことで市民ニーズ寄り添い

2. 特定外来魚（ブラウントラウト）対策

課題： 大量発生により生態系への影響が懸念。

工夫： 駆除一辺倒でなく、「厄介者を地域の食資源に転換できないか」検討。

👉 発想の転換で、環境課題を地域資源へ。

3. 民生委員の担い手確保

課題： 地元担い手が減少し、欠員が生じつつある。

工夫： 地区の枠を超え、飛騨市内 4 町での広域的な人材確保を検討。

👉 “地元にいない”なら、“市全体から人材確保”転換

4. 杉崎公園 夏の水遊びイベント

課題： 子どもたちの夏のにぎわいづくりの継続要望。

工夫： 低コストながら満足度の高い継続実施を検討。

👉 子育て世代等公園利用者のイベント充実

5. 声優塾への対応（宮川地域）

課題： 夏合宿に訪れるスクール生への地域対応が必要。

工夫： おもてなしと交流を重視し、「思い出に残る滞在」につながる運用を検討。

👉 重点を変え、地域の“歓迎力”。

6. 移住・就労相談体制

課題： 休日に移住・就労の相談窓口がない。

工夫： 休日対応可能な「移住・就職相談窓口」開設を検討。

👉 “相談できる日がない”を“いつでも相談できる”へ。

7. 除草対策

課題： 人手不足により草刈りの負担が増加。

工夫： 自然由来の除草剤を扱う企業と連携し、「大実験 in 飛騨市（仮）」できないか検討。

👉 持続可能な“地域×企業”協働モデルの検討。

8. 除雪作業員への感謝とやりがい

課題： 市民からの苦情の対象となりがちで、モチベーション維持が課題。

工夫： 子どもや地域からの感謝を形にする「やりがい企画」を検討中。

👉 “批判される仕事”から“誇れる仕事”へ。

番号	委員	意見	担当課	メモ
1	中畑委員	<p>①文化財の補助金についての要望</p> <p>角川区で今年度、2件の文化財の補助金の要望を出しました。 要望の1つは、薬師堂の屋根の修繕についてです。 昨年の雪により、屋根の垂木等が数本折れたための修繕です。この建物の保険は、火災保険のみの加入であったため、雪の被害は対象外でした。文化財の補助金は事業費の2分の1の補助で1年の予算枠が決められています。飛騨市内からは毎年補助金の要望があり、順番待ちの状況です。 角川区で要望した回答は、文化財の補助金としては今年の予算枠を超えてしまったため、区で応急措置をするよう回答がありました。 そこでお願いですが、今年は豪雪並みの降雪で、同様の被害が市内でも多くあったのではないかと思います。こういった場合、例年より文化財の補助金の枠を増額していただくことはできないでしょうか。今冬も豪雪の場合、更に被害が拡大してしまいます。補正対応をしていただきたくお願いします。</p>	文化	
2	C委員	<p>①委員の費用弁償について</p> <p>1. 状況・背景 令和5年度第4回飛騨市総合政策審議会の折に、「委員の費用弁償」1キロ20円の根拠についてお尋ねさせていただきました。 その折に都竹市長より「根拠については、国の基準に準拠しているのか調べたことがないため分からない。昨今の経済状況を考えると、従来の費用弁償・旅費では賄えなくなっている側面もあるため、算出根拠など改めて確認しながら必要性を含めて検討していきたい。」と回答をいただきました。</p> <p>2. 市への要望・対応案など 厳しい財政の中で見直しをされ、予算化することも非常に難しいと考えていますが、ご検討された内容についてお聞かせいただければ幸いです。</p>	人事	

番号	委員	意見	担当課	メモ
3	F委員	<p>①国勢調査や農林業センサスのやり方について</p> <p>1. 状況・背景 調査のやり方が現代に合っているのか。事前の在宅調査は不審者とみなされる場合があり、対面での書類渡しはリスクがある。調査員の個人情報が守られていない、訪問しても、独居で耳が遠く呼んでも出てこない、怒鳴る、不審がるなど、地区や住人によってやりやすさに差がある。安全のために家族を連れて行く場合、家族には手当が付かないなど、安全を考慮すると公平でなくなる。 調査員の半数以上が市役所職員。一般でやりたいと思ってもいつ公募があったか知らない人がいる。</p> <p>2. 市への要望・対応案など 一般公募の周知方法の見直し、安全・個人情報に配慮した調査方法の考案、次回調査のための事後アンケートの実施</p>	総合政策	
4	G委員	<p>①旭保育園閉園後の利用法について</p> <p>旭保育園閉園後は、どのように活用される予定でしょうか？子育て支援センターを移転する？良い場所なので、有効利用していただきたいです！</p>	子育て	
4	G委員	<p>②夏の出張プールの時間構成について</p> <p>夏に坂巻や諏訪田で、大型プールや滑り台プール等やっていただき、園児も大きいプールに入れありがたいです。ただ、小4までが対象であり、小学生と保育園児では背丈等差があり、時間配分等をしてもらえたら、もっと有効活用できると思う。 せっかくきても小さい子は、怖がり帰ってしまったので。</p>	建設	

番号	委員	意見	担当課	メモ
5	H委員	①小・中学校での防災教室について 1. 状況・背景 山之村小中学校、神岡中学校の防災教室を見学させていただきました。生徒だけでなくPTA、自治会役員、地域の方が参加されていました。他の学校では無いことかと思いますが、生徒さんと地域の方々の意見交換もあり大変良いことだと感じた次第です。 2. 市への要望・対応案など 他の学校でも取り入れてみてはどうでしょうか。	学校教育	
		②避難所の木製パーテーション設置について 市内の各中学校に設置されますが、セットの増設や今後小学校への設置も検討されているのでしょうか。	危機管理	
6	I委員	①宿泊税について 1. 状況・背景 高山市、下呂市が宿泊税を導入することになりました。 2. 市への要望・対応案など 個人的には、飛騨市の宿泊施設のパイが少ないので、導入せずに他市と差別化した方が良くと思いますが、今後どうするかなど教えてください。	観光	
		②中学校のプリントの電子化について 中学の活動の様子をメールで配信してくれるようになってありがたいですが、どちらかといえば行事案内やアンケート、提出期限があるような紙のプリントをデータ化して配信してほしいです。 子供が机にしまいこんで、提出期限後に家に持ってくる場合があります。何度言っても治らないので、親に直接メールでもらいたいです。	学校教育	
		③神岡での放火事件について 放火事件で多くの消防署員、団員が夜中に出動しました。報酬の支払いなど市としても支出が出てますが、こういった悪質なケースには相手に請求することはできないのでしょうか？回収できるかは分かりませんが、泣き寝入りなのも腹立たしいです。 あと今回の事件で、地元では「やっぱりか」と言った声が多いです。近年、移住した方の家の火災が続いたのもあり、「もしかしたら他のも」と疑心暗鬼になったり、移住者を受け入れるのには良くないムードになってるような気がします。 どうすれば良いかは分かりませんが、新しく来てくれる人が気持ち良く移住してくれる環境づくりを期待します。	消防 ふるさと応援	

番号	委員	意見	担当課	メモ
7	J委員	①飛騨市の働き方について	人事	
		マイクロワークや働いてもらい方改革について、市の考え方や取組、今後の導入予定などをお伺いしたい。		
8	K委員	令和7年度も折り返しを迎えました。各部門におかれましては、これまでの取り組みの進捗状況について、可能な範囲で数値などを交えてご共有いただけますと幸いです。市民の皆様にも分かりやすく、今後の展望が見える形でご説明いただければと思います	まちづくり 観光課	
		①飛騨市・富山市との広域連携による地域活性化の推進について		
		1. 状況・背景 ・両市は隣接し、歴史的・経済的なつながりが深い。 ・高齢化・人口減少が進む中、広域連携による資源の共有と相互補完の必要性 ・観光や産業の潜在力を活かしきれていない		
		2. 市への要望・対応案など (1) 観光連携の強化 ・「飛騨・富山文化回廊」構想の推進（共通観光ルートの整備） ・両市の伝統文化をつなぐ広域イベントの開催		
		(2)交通アクセスの改善 ・富山駅～飛騨古川駅間の観光列車の導入 ・国道360号線の拡張、修復。	建設課	
		(3) 教育・若者交流の促進 ・高校・大学間の合同プロジェクト（地域課題解決型学習） ・インターンシップ制度の相互連携 （富山市企業 × 飛騨市学生・飛騨市企業×富山学生） 若者向けの交流キャンプ・ワークショップの開催	総合政策課 ふるさと応援課	

番号	委員	意見	担当課	メモ
8	K委員	(4)産業・経済連携 <ul style="list-style-type: none"> • 地元産品の相互販売（道の駅・物産展での共同出展） • 中小企業の技術交流・共同開発支援 	商工課	
		(5)防災・環境分野での協力 <ul style="list-style-type: none"> • 災害時の相互支援協定の締結 • 自然保護活動の共同実施 	危機管理課 まちづくり 観光課	
9	L委員	①官地の草刈り等の管理について	農業	
		水田を中心に耕作者は減少するばかりで法人、営農組合にしても耕作は機械の大型化すれば可能だとしても官地の草刈り等の管理が限界です。		
10	M委員	①県道75号線のバイパスの早期開通について	建設	
		1. 状況・背景 県道75号線の新川太江営農センター前から杉崎の信号までの区間の道路幅が大変狭い上、交通量が近年多くなったこともあり大型車が頻繁に通るため交差に危険を感じます。 2. 市への要望・対応案など この区間は児童の通学路でもあり、安全のためにも早期の開通を望みます。 県道であり、市の管轄外と思いますが、国道41号までの早期の開通をお願いします。		

番号	委員	意見	担当課	メモ
		<p>①CoIUと飛騨市学園構想の連動について</p> <p>1. 状況・背景 飛騨地区初の4年生大学として大変期待します。保・小中・高・特別支援学校の先に繋がる大学は、当然飛騨市学園構想に位置づくことでしょう。構想は第2章を終え、第3章は来年度から始動すると思いますが、第3章にCoIUは位置づくのでしょうか。4領域を構想であれば、大学はどの領域にどう捉えられるのでしょうか。</p> <p>また、学園構想は校種連携が柱の一つであり、今後市役所だけでなく学生の受け入れ現場としての学校の負担増も考えられます。市としての予算等どのように見込んでみえるのでしょうか。</p> <p>2. 市への要望・対応案など 学園構想の繋がりの中でCoIUの意義をさらに周知していただきたいです。</p>	<p>学校教育</p>	
11	N委員	<p>②各学校特別教室の空調設備について</p> <p>1. 状況・背景 今夏も猛暑が続き、学校もなかなか大変でした。普通教室のエアコン設置率は100%だと思いますが、特別教室の設置率は現在どのようでしょうか？今夏、エアコンのない特別教室で、耐えられなくて自主的に普通教室に戻った児童があったように聞きました。どの教室でも安心して授業ができるエアコンの完備はいつ頃になる見通しでしょうか。</p> <p>2. 市への要望・対応案など 温暖化によって年々暑さが増すことが大いに懸念されます。安全のためにもよろしく願いします。</p> <p>併せて、前にも伺いましたが避難所としての体育館の空調について、簡単ではないことはよく承知していますが、見通しがあれば伺いたいところです。</p>	<p>教育総務</p>	

番号	委員	意見	担当課	メモ
12	Q委員	①「労働実態調査」の実施について 1. 状況・背景 飛騨市は「データに基づく政策判断」を掲げ、景気動向や企業を対象とした「飛騨市景気動向調査および労働実態調査」を実施されています。 一方で、働く方々の実態（賃金水準や労働時間、雇用形態、離職の状況、ワーク・ライフ・バランスなど）については、まだ十分に把握しきれていない面もあるように感じます。 2. 市への要望・対応案など 高山市では、事業所と労働者の双方を対象にした「労働実態調査」を毎年実施し、地域の雇用政策や人材確保施策に活用されているとのこと。 飛騨市においても、こうした労働者の視点を取り入れた調査の充実が図られると、より実態に即した政策立案につながるのではないかと思います。 ぜひ、独自の労働実態調査を進め、データに基づいた施策をさらに深めていただきたいと思えます。	商工	
		②公衆無線LAN（フリースポット）の利用時間について 1. 状況・背景 現在、フリースポットは1回の利用が10分に制限されており、再接続には3時間の間隔が必要です。 そのため、観光客が街歩きをしながら情報を調べる際には不便さを感じる場面もあるのではないのでしょうか。図書館では学生や社会人が勉強や調べもののために多く利用されていますが、十分にインターネットを活用できず、利用環境の改善が望まれます（2階では利用可能とのことですが）。 2. 市への要望・対応案など 子どもがゲーム等に使用してしまうといった懸念も理解できますが、実際に必要としている方が利用できるよう、利用時間やエリアの設定を含めた環境整備を検討していただきたいと思えます。	総務	

令和7年度のスケジュール

資料③

政策協議

7-10月

予算編成

10-11月

7月

10月

11月

第1回飛騨市総合政策審議会
令和7年7月14日(月)

第2回飛騨市総合政策審議会
令和7年10月17日(金)

予算査定

12-1月

議会審議

2-3月

1月

第3回飛騨市総合政策審議会
令和7年12月22日(月) 予定

第4回飛騨市総合政策審議会
令和8年3月23日(月) 予定